

---

# 小片《ピース》

藍絃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ピース  
小片

### 【Nコード】

N2353E

### 【作者名】

藍絃

### 【あらすじ】

何が本物で、何が偽者なのか。自分は、どうあるべきなのか。それは、自分自身で決めるべきである。

ずれてバラバラに散ってしまった小片<sup>ピース</sup>。

それによって生きているのは自分。

小片がなければ腕も、顔も、体も、何もかもが存在しない。

自分は生きているのか？

全ての小片を奪われるまで死ぬことのできないこの自分が、生きていると言えるのか？

答えは胸に聞け、彼女が言った。

胸、これも小片で構築された偽者<sup>フェイク</sup>。

実体は、どこか昔へ置いてきてしまった。

取り返せるのかと、考えない。

今は、死なない為にも戦うだけ。

自分と同じ偽者を相手に。

目覚めた世界は偽者だらけ。

そう思っていたら自分も偽者。

何が本物で、何が偽者？

見分けるのは誰で、見分けたもの自体もどう分類される？

知らない、 知ることができない不安に、 苛立たしげなぬるい風が吹く。

全ては謎のまま、 見知らぬ土地に投げ出された。

真実を求めるのか、 虚偽の世界に身を任せてしまうのか。

判断は全て自分でしなければいけない、 例え誰であろうと。

誰の指図も受けずに、 自由に、 それは夢のような言葉であり、  
同時に束縛である。

さて、 自分の意思をどこまで通せるのか、 それは本人のみぞ知る。

この境界線の先に、 あなたはいるのだろうか。

見えるのに触れない。

傷ついていくあなたを見ても助けられない。

辛い、 できることを探してみても、 誰も知らない。

文献にも載らない物事に、 対処できない自分に、 あざけるように鋭い風が吹く。

何もできない。

そうやって自分の伸びを遮らせてはいけない。

できることを探せ。 誰かが囁く。

自分を卑下しないで進む。

それは、 今の自分にできること。

気付けば世界は本物と偽者に分かれていた。

それを知ってから、 自分は本物だと分かった。

目の前には、 まるでパズルのような小片ピースになって碎けていく偽者フェイク。触ろうにも触れない。

それは何なのだろうか、 知りたいと思った。

自分が偽者フェイクなのか、 本物リアルなのか。

誰かが、 それを知ることが待つ気はない。

全ては自分の手で、それが自分である。

自分は自由に、自分なりに、それこそが自由であり、自分で  
ある。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2353e/>

---

小片《ピース》

2010年10月20日19時33分発行